

ISO (JIS) 14015 環境マネジメント - 用地及び組織の環境アセスメント

日本環境は、不動産取引や証券化に伴う環境サイトアセスメントの実績を多数有します。ISO 14015 に定められる方法を活用し、サイトアセスメントを実施することにより、不動産や設備の有する環境リスクを把握し、対策を講じていくことが可能です。

ISO (JIS)14015 規格は土壌汚染に関する国際規格です。

用地及び組織のサイトアセスメントとは.....

(英語名: Environmental Assessment of Site and Organization、通称 EASO)

近年、我が国では土壌汚染対策法や自治体の土壌汚染に関する条例の強化、不動産証券化スキームの適用等に伴い、あらゆる組織において自らの土地または取得予定の土地に関する環境上の問題に慎重に対応するようになってきています。本規格は、このような環境課題が事業に及ぼす影響を査定するものです。

不動産の取得時の他、操業中の工場でも適用できます。

適用例

時期	適用用地	適用方法例
操業中	工場用地等	・ 資産価値の評価 (減損会計、証券化) ・ ISO14000 の運用の一環として実施 ・ その他、環境対策の必要性の検討
資産分割時	全て	・ 資産価値の評価及び対策の必要性の検討
資産取得時	全て	・ 資産価値の評価及び対策の必要性の検討

想定される利用者

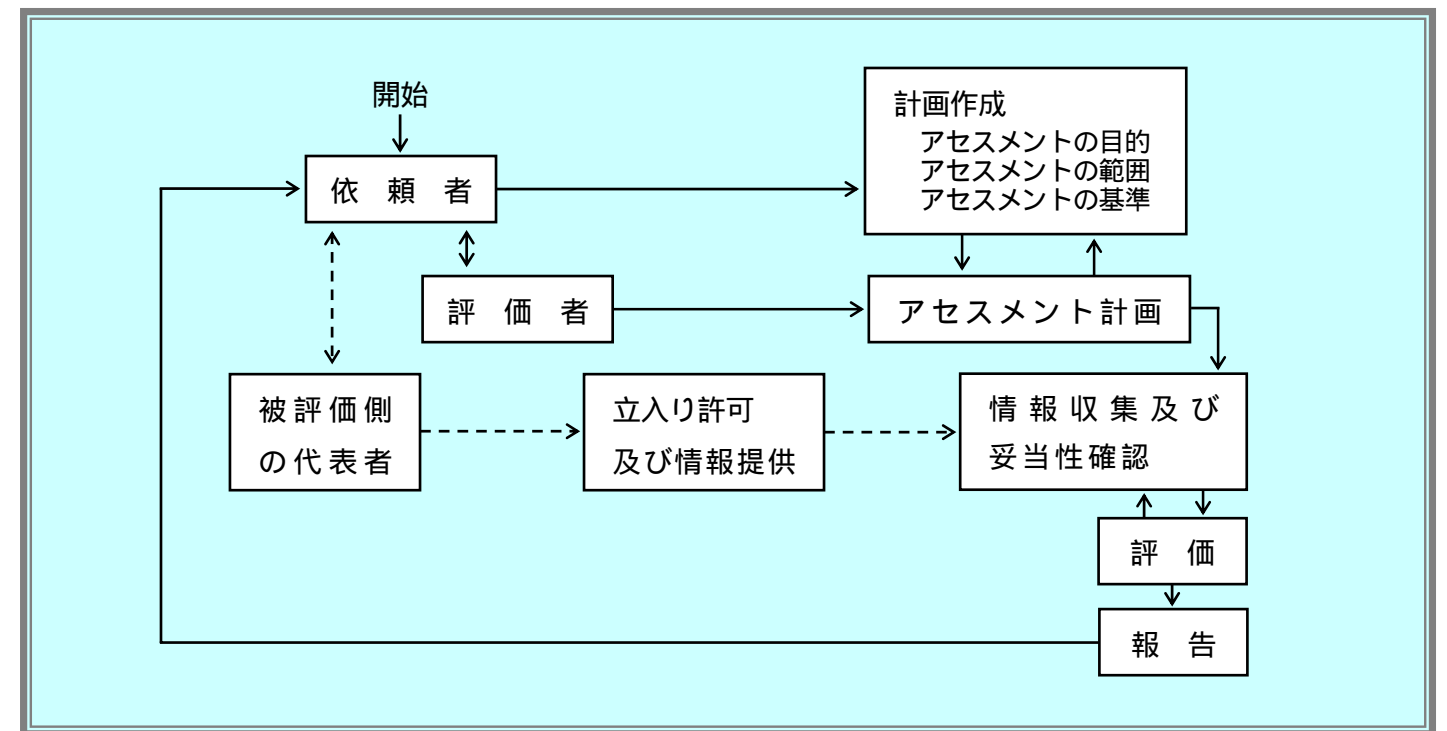
本規格の利用者には産業、銀行、保険会社、投資家、土地所有者が想定されています。

土壌汚染対策法等の法的要求事項に係るリスクも調査します。

調査の内容

項目	概略の内容
既存資料調査	土地の履歴、地形・地質、組織の情報、工程の情報 法的要求事項、周辺環境の情報等
現地視察	地形・地質、におい、音、振動、熱、粉じん、廃棄物管理、排水、 大気放出、原材料の保管、排水路、配管等
面接調査	組織の活動状況、土地利用、自然災害、事故
情報の妥当性の確認	得られた情報の整理、科学的知見に基づく事実確認 類似事例の参照

実施手順



当社の特徴

技術士、地質調査技士、土壌環境リスク管理士等の専門のスタッフが担当します。

・ 環境分野の専門家や土壌、地下水の専門家が対応いたしますので安心です。

(環境サイトアセッサ資格取得の申請中です)

・ 補足調査として地下埋設物調査等の物理探査手法の適用も可能です。

不動産証券化や不動産取引に関する調査実績が豊富です。

・ 当社では他社に先駆けて不動産取引に関する業務を実施しています。

環境影響評価等の他分野の技術を幅広く利用することができます。

・ 土壌汚染問題に付随する大気汚染や地下水汚染の問題等にも幅広く対応できます。

業務概要

- ・ 環境アセスメント (調査・予測・評価・対策)
- ・ 廃棄物処理施設生活環境影響調査
- ・ 大規模小売店舗立地法に関する業務
- ・ ISO、PRTRに関する支援業務
- ・ 不動産の所有権移転に伴う環境調査
- ・ 開発援助に関わる社会環境調査
- ・ ダイオキシン類の調査・分析
- ・ GIS/環境シミュレーション
- ・ 自然環境調査

測定・分析を行う主要機器類

- ・ 蛍光X線分析装置
- ・ ガスクロマトグラフ質量分析計 (GC-MS)
- ・ マイクロウェーブ分解装置
- ・ ICP質量分析計
- ・ ガスクロマトグラフ (ECD、EPDなど)
- ・ 高速液体クロマトグラフ (HPLC)
- ・ 原子吸光光度計

お問い合わせ先：環境コンサルタント

日本環境株式会社 環境調査カンパニー

〒230-0051 横浜市鶴見区鶴見中央3-12-31 TEL.045-501-8929 FAX.045-504-2506

担当 坂口、松野

e-mail: kankyo-1@n-kankyo.com